

# 青森県におけるグリーン・ツーリズムネットワークの構築 Plan of Green Tourism Network in Aomori Prefecture

○ 野澤 俊介\*                      谷口 建\*                      田村 義夫\*\*  
Syunsuke NOZAWA      Ken TANIGUCHI      Yoshio TAMURA

## 1. はじめに

グリーン・ツーリズム（以下、GTと略称）への関心が高まるなか、青森県では農山漁村の新たなビジネスとしての活動や、GTに関する情報の受発信が不十分なため来県者が少なく、地域活性化に結びついていないのが現状である。そのため、顧客の情報受発信の改善と受け入れ体制の強化が求められている。本報では、GTビジネスと連携情報発信の先進地や、県内のGT実践者に対して行ったヒアリング調査やアンケート調査、情報網の事例調査をもとに、青森県におけるGTビジネスモデルとして「コア・サテライトネットワーク」を構築し、それらの役割と運営について検討した。

## 2. GTビジネスと連携情報発信の先進地調査

1) 調査概要 福島・石川・長野・兵庫・新潟・鹿児島・青森県で聞き取り調査、事例調査、GTに関する提供資料により、GTビジネスと連携情報発信のネットワーク化について調査した。

2) 調査結果 どの県においても、県からの委託・助成を受け組織された団体や県が統括するなどの違いはあったものの、基本的に県全体をまとめる一つの組織（コア）があり、そこから観光協会や市町村、JA、GT団体などの地域（サテライト）、さらに実践者と連携し、情報交換を行っている。ある地域では、コア内に専門部会を設置し、積極的な推進活動を行っている。また、「サテライト」にはGT団体や農林漁業関係組織が多いが、商工会やU・Iターンの芸術家、なかには神社や景勝地などといったGTとは一見関係ないようなサテライトもあった。

## 3. 県内のGT実践者、関係市町村、体験イベント事業関係者に対するGT意識調査

1) 調査概要 GT活動・情報発信の現状を把握するために、県内でGT活動をしている個人・団体・行政（市町村）に対し、アンケート用紙を郵送し、59通の回収をみた。

2) 調査結果 GT活動や交流・体験の対応は、半数以上がGT団体または市町村が窓口となっている。また、9割が何らかの組織や個人等と連携し、情報交換や受入協力をしている。しかし、ほとんどが専門指導者やGT講師からの情報に関する指導を受けていない。また、情報発信元が、加盟団体や行政、個人など、

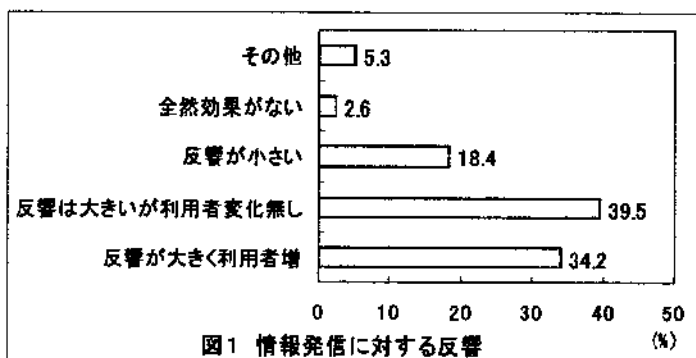


図1 情報発信に対する反響 (%)

様々で、情報が統一されていない可能のために、マイナス効果がプラス効果を上回っている（図1）。

## 4. 考察

### 1) ツーリズムビジネスモデル構築のために要求される内容と体制

\*弘前大学農学生命科学部      \*\*つがる里山体験塾      キーワード：グリーン・ツーリズム、コア・サテライト

a) 青森県内ツーリズム情報のネットワーク化 これまでのGT情報の取り扱い、個人または小地域単位で対応していたために、顧客からの問い合わせに十分な対応ができない場合には、県外に顧客が流れてしまうケースが多かった。そこで、GT情報をより広域的に集積し、青森を訪れようとする顧客を確保するために、「情報ネット+人的ネット」の両面から県全体としてのGT情報のネットワーク化が必要といえる。

b) 青森県内GT情報を束ねるコアセンターと地域GT情報サテライトの配置 青森県全体のGT情報を広域的に束ねようとするには、地域の様々な情報の収集、とりまとめを行う「地域サテライト（仮称）」と、それらのGT情報をとりまとめる中心基地となる「GTコアセンター（仮称）」の設置が求められてくる。顧客からの問い合わせに対し、コアセンターから一斉に各地域サテライトに情報が送られ、その中から対応可能な地域サテライトを通して、受入可能な農家等を斡旋することで、青森県全体としてGTビジネスのチャンスを拡大する。また、県内にはJAや農業改良普及センターなど農業に関連した全県のネットワークがすでに存在している。これらの組織と連携しGTビジネスのチャンスを拡大する。以上の2点から、GTネットワーク構想は以下のような特徴を備えている。

ア) 参加者を限定しない イ) GT情報の動きをビジネスにつなげる ウ) 「情報」「ネットワーク」はIT技術に限らない

## 2) GTコアセンター・地域サテライトの役割

a) GTコアセンターの役割 GTコアセンターの役割は大きく分けて次の3つになる（図2）

- ア) 関係機関との折衝
- イ) 地域サテライトの支援と人材育成
- ウ) 情報ネットワークの基地

b) 地域サテライトの役割 地域サテライトでは、直接顧客の対応を行い、GTを実践する場であるため、ここでの役割はコアセンターより本ネットの成否に関わってくる。役割は以下の通り。（図3）

- ア) 顧客への対応
- イ) 実践農林漁業者への対応
- ウ) 地域への対応

## 3) GTコアセンター・地域サテライトの運営

a) 運営体制 本ネットワークは、GTを通して地域の活性化を目指すものであり、農林漁業者の利益追求のみに着目するのではなく、地域全体での取り組みが必要であるため、GTコアセンター・地域サテライトの運営には、農林漁業者や民間業者、行政関係者以外に中立的立場の非農林漁業者の参画が不可欠である。これにより、最近の地域の話題や隠れた地域資源の発掘につながり、GTの推進だけでなく、地域内交流の拡大にも広がり、地域活性化の可能性も広がる。

b) 収入源の確保 ネットワークを運営するには資金が必要となるが、その収入源については、行政機関等からの委託・受託事業や旅行会社・交通機関のツアー受入提携などが主となる。また、事務的運営のためには、会員からの会費徴収が必要である。

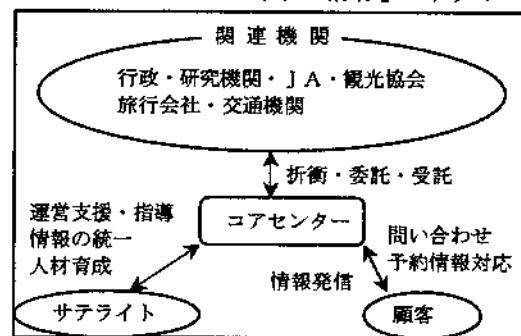


図2 GTコアセンターの役割

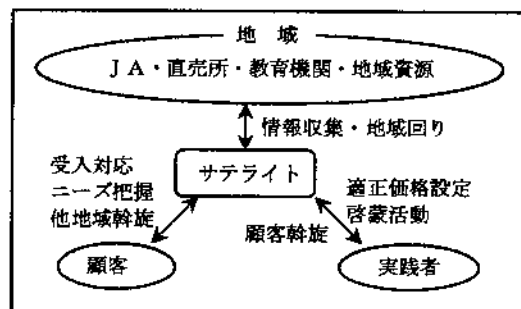


図3 地域サテライトの役割